

整理番号 2019M-028  
補助事業名 2019年度 レーザポインタの安全・安心推進に関する標準化調査研究  
補助事業  
補助事業者名 一般財団法人光産業技術振興協会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

国際規格IECおよび日本産業規格JISのレーザ安全の基本規格が2014年度に改正されたにもかかわらず、レーザポインタを中心とする携帯型レーザ装置の事故が続いている。そこで、レーザポインタの安全・安心の見地から、各国のレーザポインタに代表される携帯型レーザ装置の標準化・法制度の現状を調査し、有効な標準化を整備するための準備を行う。また、シンポジウム開催により、レーザポインタの安全性に関する啓発を図る。

### (2) 実施内容

#### ①シンポジウムの開催

<http://www.oitda.or.jp/main/one/080/optonews14626.pdf>

2019年度光産業技術標準化国際シンポジウムを、「レーザ安全の法規制と標準化」をテーマに、欧州のレーザ安全の専門家を迎え、2020年2月21日に大阪で開催した。



日本人講師

海外招聘講師

日本人講師

日本人講師

#### ② 標準化国際会議への出席

レーザ機器の安全性に関する標準化等の国際動向の調査を行うため、2019年9月～10月に米国ノースカロライナにて開催された、IEC/TC 76（レーザ機器の安全性）標準化国際会議に参加した。

#### ③ 海外法規の翻訳

レーザポインタに関する非常に厳しい規制であるスイスの「非電離放射線及び音による危険からの防護に関する連邦法」及び同条例を和訳した。

## 2 予想される事業実施効果

### ① シンポジウムの開催

シンポジウム参加者が、レーザポインタの安全・安心に係る法規制と標準化とを深く認識し、欧州指令と結びついている欧州規格化プロセスについて直接学ぶ機会を得たことにより、法規制と標準化との関係を具体的イメージできたと期待される。

### ② 標準化国際会議への出席

IEC/TC 76標準化会議において把握できた国際標準化動向が、レーザポインタの安全・安心な使用方法に関する標準化を検討していくうえで大いに参考にできると期待される。

### ③ 海外法規の翻訳


翻訳したスイスのレーザポインタの規制に関する法規の背景となるレーザ安全に対する考え方が、今後、適切な使用方法などを含むレーザポインタの安全・安心に関する指針を策定するのに寄与することが期待される。

## 3 補助事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

2019年度レーザポインタの安全・安心推進に関する標準化調査研究報告書

<http://www.oitda.or.jp/main/keirin/hj201901.pdf>

<b>2019年度 レーザポインタの安全・安心推進に関する 標準化調査研究報告書</b>	
2020年3月	
一般財団法人光産業技術振興協会	
 この報告書は、著作権の補助により作成しました。 <a href="http://hojo.keirin-autorange.jp">http://hojo.keirin-autorange.jp</a>	
<b>目 次</b>	
はじめに	1
委員会委員 2019年度レーザポインタの安全・安心に関する標準化調査研究委員会	2
執筆委員 2019年度レーザポインタの安全・安心に関する標準化調査研究委員会委員以外	2
<b>第1章 調査研究概要</b>	1
1.1 調査研究の意義及び目的	1
1.2 調査研究の概要	1
1.3 調査研究の概要	2
<b>第2章 標準化国際シンポジウム</b>	3
2.1 シンポジウムの概要	3
2.2 シンポジウムの実施概要	3
2.3 調査研究	4
2.3.1 レーザ安全性に関する規格のトピックス—レーザポインタの事件報道を中心に	3
2.3.2 調査対象レーザの種類のための新しい欧州安全規格—その意義と意義	13
2.3.3 規格に記述される規格化レーザポインタの種類と特徴	36
2.3.4 レーザポインタによっての安全性規格と危険回避	50
<b>第3章 国際会議の調査</b>	64
3.1 調査の目的と概要	64
3.2 IEC/TC 76—プロセスと自律イテラティブ調査報告書	64
3.3 今後の展望	69
<b>第4章 海外法規の翻訳</b>	70
4.1 翻訳の目的と概要	70
4.2 作業開始前及び終了による危険からの回避に関する調査書 (NF100)	71
4.3 作業開始前及び終了による危険からの回避に関する調査書についての巻頭 (NF100)	75
別添付1	86
<b>補遺資料</b>	87
A シンポジウムのアンケート結果	87
B レーザ安全規格 IEC 60825-1—概要	88
C IEC 60825-14 第2版に対する日本コメント	90
D IEC 60825-14 第2版に対する標準化委員会の対応書	90
E IEC 60825-14 第2版に関する日本コメント	100

### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの

無し

#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人光産業技術振興協会

(ヒカリスンギョウギジュツシンコウキョウカイ)

住 所： 〒112-0014

東京都文京区関口1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル7階

代 表 者： 理事長 東原 敏昭 (ヒガシハラ トシアキ)

担当部署： 開発部 標準化室 (カイハツブ ヒョウジュンカシツ)

担当者名： 標準化室長 村田 健治 (ムラタ ケンジ)

電話番号： 03-5225-6431

F A X： 03-5225-6435

E-mail： [opt-st@oitda.or.jp](mailto:opt-st@oitda.or.jp)

U R L： <http://www.oitda.or.jp/>